



公益社団法人 茨城県農林振興公社
穀物改良部

〒311-4203 水戸市上国井町3118-1
TEL 029-239-6300 FAX 029-239-6880
<https://www.ibanourin.or.jp>

1. 令和4年度茨城県稲作・そば共進会表彰式開催

2月22日（水）、ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸において、当公社主催「第66回稲作共進会及び第33回そば共進会表彰式」が、市町村穀物改良協会、農協、農業改良普及センターなどの関係者66名の出席の下、2年ぶりに開催されました。

主催者挨拶、来賓の方々のご挨拶に続いて、審査長の滑川裕之様より各共進会の審査結果が報告され、その後、各賞の受賞者発表並びに表彰が行われました。

稲作共進会では、つくばみらい市の（有）真木（まぎ）みらいファーム様が最優秀賞となり、特別賞として茨城県知事賞を受賞しました。

（有）真木みらいファーム様は、水稻を135.1ha（コシヒカリ67.2ha、ふくまるSL31.8ha、とよめき36.1ha）栽培しており、規模拡大を図るため、農地中間管理機構を活用した農地の集積に取り組まれています。また、これらの取り組みに加え、品質の項目においての高評価が今回の受賞につながりました。



左から当公社藍原理事長、真木みらいファーム様、横張清彦様、滑川審査長

そば共進会では、阿見町の横張清彦様が最優秀賞となり、特別賞として茨城県知事賞を受賞しました。

横張清彦様は、阿見町が耕作放棄地対策として、そば栽培を推進していることもあり、平成29年に50aで「常陸秋そば」の栽培を開始し、栽培面積を拡大してきました。

現在は、一般そば3ha、採種用2haを栽培しており、採種から収穫までの機械化一貫体系により、経営の効率化を図っています。また、阿見町が取り組む地域おこし商品（焼酎、麺）の原料に使用され、その一部はふるさと納税の返礼品としても利用されています。こうしたことが今回の受賞につながりました。

一方、今回の稲作共進会・そば共進会において、惜しくも最優秀賞とならなかった受賞者の皆様に対しましても、日頃から稲作及びそばの生産振興や品質向上、消費拡大等への取り組み等、弛まぬ努力に敬意を表するとともに、今後も地域のリーダーとして、より一層ご活躍されることをご期待申し上げます。

（受賞者名簿は、8ページに掲載）

も く じ

1. 令和4年度茨城県稲作・そば共進会表彰式開催	1
2. 本県産ダイズの収量向上について	2
3. 水稻準奨励品種「にじのきらめき」の育苗方法	4
4. 米穀情勢について	6
5. がんばる種子生産者！（JA北つくば結城種子生産部会）	7
6. 穀物改良部ニュース	8
(1) 水陸稲種子生産委託会議を開催	
(2) 麦類種子現地検討会を開催	
※令和4年度茨城県稲作・そば共進会受賞者名簿	

2. 本県産ダイズの収量向上について

茨城県農業総合センター 主任専門技術指導員 興 津 正 一

1. 本県産ダイズの状況

令和3年の本県におけるダイズ作付け面積は3,350ha（全国14位）で、反収は118kg/10aと全国平均169kg/10aを大きく下回っています。本県ではダイズ栽培の7割が水田転換畑であることと、ムギーダイズ体系の連作が多く行われていることから、湿害や連作障害、雑草対策が課題となっています。

一方でダイズは健康志向の高まりにより近年需要が堅調に伸びており、特に消費者ニーズの高まりから国産ダイズを希望する事業者が増えています。中長期的にもその傾向が続くと見込まれているため、国の食料・農業・農村基本計画でも1.6倍の増産（H30→R12）が目標として掲げられているところです。

本県ダイズの収量はまだまだ伸びしろが沢山あります。収量に応じて交付金の支払額も増えるため、ポイントを抑えた栽培で収量を増やし、儲かる農業を実現しましょう！

2. 多収栽培のポイント

ダイズは栽培の途中で収量向上のためにできることが限られているので、栽培を始める前までに多収に向けての準備を整えることが大事になりま

す。苗立ち数が収量に直結するため、まずは出芽不良が起きないように良い播種床をつくりましょう。特に水田転換畑でのダイズ栽培は転換前から始まっている意識のもとで、水稻栽培では中干しを確実に行うとともに、収穫時に圃場を荒らさない事を心掛けてください。その上で、①湿害回避のため圃場の排水対策と、②適正な生育量確保のための適期播種が重要になりますので、詳しく述べたいと思います。

●排水対策

ダイズは湿害に弱く、特に播種直後に土壌が過湿となったり、圃場が湛水したりすると、出芽不良となり、十分な苗立ち数を確保することができません。ダイズの播種時期は梅雨の時期とも重なるため、水田輪換畑などの排水条件が悪い圃場では、排水対策が必要です。対策の際には地表面の水と地下水の両方を意識してください。

表面排水に有効な対策として明渠の施工があり



写真1



写真2 カットドレーン

ます。額縁に施工したうえで塩ビ管などで溜まった水が圃場外に排水されるようにします(写真1)。また、前作から施工されている場合には、崩れや詰まりなどがないか点検しましょう。

地下排水性の改善には心土破碎や暗渠が有効な対策です。本暗渠に加え、補助暗渠を施工すると、効果はより高まります。補助暗渠により、本暗渠への水みちがで、本暗渠の排水能力が高まります。補助暗渠を施工するための作業機はカットドレーン(写真2)やサブソイラ(写真3)等様々なものがあるので圃場の土質や労働力を考慮して選択しましょう。ただし、補助暗渠の通水孔やスリットは劣化により閉塞します。排水性の悪い圃場を中心にこまめに施工するようにしましょう。地下水位は低いのに耕盤があるために滞水するような圃場の排水改善方法としては、パワーソイラーやカットブレイカーなどによる耕盤の破碎が



写真3 サブソイラ



写真4 耕耘同時畝立て播種機

有効です。また、低地で地下水位が高く排水が難しい圃場では作物を高い位置で生育させる畝立栽培が有効です。県内でも耕耘と畝立てと播種を同時に行う耕耘同時畝立て播種機(写真4)が導入され石岡市、笠間市、桜川市など70haで畝立て栽培がおこなわれています。

●適期播種

播種時期が遅くなると、生育期間が短くなり、十分な生育量を確保できずに収量が低下します。「里のほほえみ」の播種適期は、6月上旬～7月上旬まで、「納豆小粒」は、6月中旬～7月上旬までとします。降雨などの影響によりやむを得ず、播種時期が7月中旬以降になってしまった場合は、畝幅を30cm、株間を10～15cmと狭くして播種量を増やすことにより、単位面積当たりの株数を増やし、収量の低下程度を小さくします。播種が遅れてしまったときの畝幅・株間と播種量の目安は表1・2を参考にしてください。その際には、雑草害による収量低下を防ぐため、播種後の土壌処理除草剤に加えて生育期の茎葉処理除草剤を散布しましょう。

表1 播種時期と畝間・株間

品種	播種時期	畝幅 (cm)	株間 (cm)
里のほほえみ	7月20日頃	30	10～15
	7月末まで	30	10
納豆小粒	7月20日頃	30	10
	7月末まで	30	10

表2 株間と播種量 ※株間30cm 1粒播き

品種	株間 (cm)	播種量 (kg/10a)
里のほほえみ	10	13.8
	15	9.2
納豆小粒	10	3.8

3. 水稻準奨励品種「にじのきらめき」の育苗方法

茨城県農業総合センター 農業研究所 水田利用研究室 櫻井 沙季

水稻準奨励品種「にじのきらめき」は、高温耐性に優れ、イネ縞葉枯病抵抗性を持ち、今後の普及が見込まれますが、現地農家において「出芽しにくい。苗が伸びない。」等の育苗にかかる問題が散見されています。なお、育成元である農研機構が作成した本品種の標準作業手順書による浸種及び催芽方法は、本県の慣行法とは異なります。そのため、本県に適した浸種及び催芽の目安、育苗日数を明らかにしました。

材料及び方法

- ① 「にじのきらめき」、「コシヒカリ」において、次の条件における催芽程度を測定しました。
浸種積算温度：90、105、120、135、150℃
浸種水温：15、24℃
催芽時間：15、18、20、24、32、42時間
調査対象：100粒/試験区、3区制
- ② 「にじのきらめき」、「コシヒカリ」において、次の条件における苗質を調査しました。
播種時期：4月5日、4月19日、5月12日
育苗日数：15、20、25、30、35日
播種量：160g/箱

浸種積算温度

機械播種に適した（※1）「にじのきらめき」の浸種積算温度は、120～135℃でした（図1）。同一条件下における「コシヒカリ」の浸種積算温度は90～120℃であったことから、「にじのきらめき」は「コシヒカリ」より1日長く浸種する必要があると考えられます。

（※1）催芽程度が「ハトムネ状態となる催芽粃」の割合が5割以上かつ「芽が6mm以上に伸長する催芽粃」の割合が低い条件

浸種水温

芽を伸張させずに吸水を進めるために、浸種は15℃以下の水温で時間をかけて行う必要があると考えられます（図2）。

催芽時間

浸種積算温度120～135℃の場合、機械播種に適した「にじのきらめき」の催芽時間は24～32時間でした（図3）。同一条件下における「コシヒカリ」の催芽時間は、15～18時間であったことから（データ略）、「にじのきらめき」は「コシヒカリ」よりも9～14時間長く催芽する必要があると考えられます。

育苗日数

葉齢（本葉）が2.2～2.5となるハウス内の積算気温は、「にじのきらめき」で355.3～491.6℃、「コシヒカリ」で283.0～398.4℃であることから（図5）、「にじのきらめき」の育苗日数は「コシヒカリ」よりも3～5日長いと考えられます。

留意事項

- 1）試験に用いた種子は令和2年産の原種です。
種子の年産や栽培地によって休眠程度が異なることがあるため注意が必要です。
- 2）浸種温度は10～15℃が適しています。
- 3）催芽程度は、育苗器を用いた加温積重ね法の場合ではハトムネ5割程度、平置育苗法の場合ではハトムネ8割程度を目安とします。
- 4）出芽には育苗器（30℃・2～2.5日間）を用いました。平置育苗法については、低温時においては、より育苗日数がかかる可能性があるため注意が必要です。
- 5）良質苗の条件は、草丈約13cm、葉齢（本葉）2.2～2.5です。
- 6）ハウス内の積算気温が355.3～491.6℃となる育苗日数は、4月5日播種で25～32日（ハウス内の日平均気温：16.9～17.3℃）、4月19日播種で21～27日（18.5～19.1℃）、5月12日播種で16～22日（23.6～23.7℃）です（水田利用研究室（龍ヶ崎）での結果、R3）。

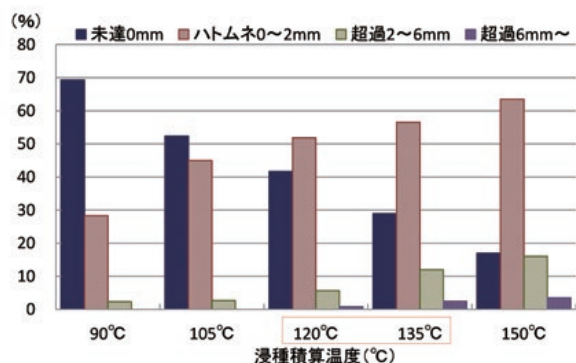


図1 浸種積算温度と24時間催芽後の催芽程度

注) 水田利用研究室での結果 (R3)、品種「にじのきらめき」
 水温: 15°C (浸種時)、30°C (催芽時)
 催芽程度: 100粒を目視で測定 (反復3~6)

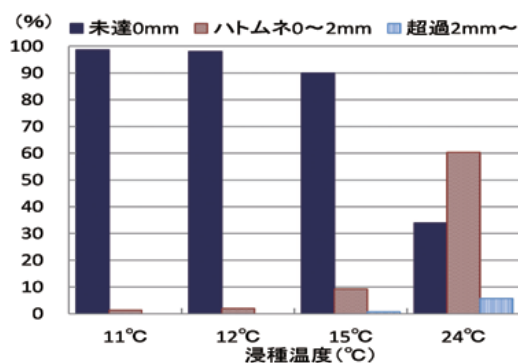


図2 浸種温度と催芽程度

注) 作物研究室・水田利用研究室での結果 (R3)

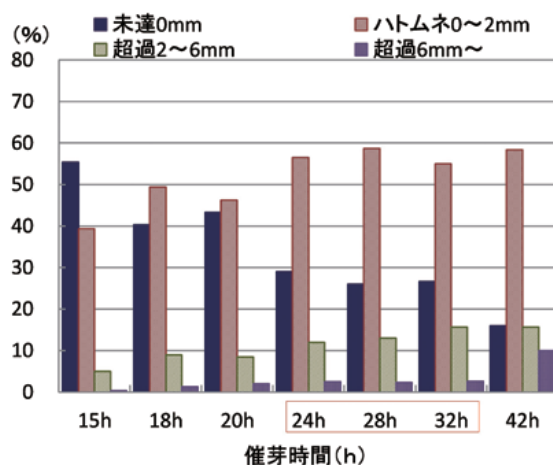
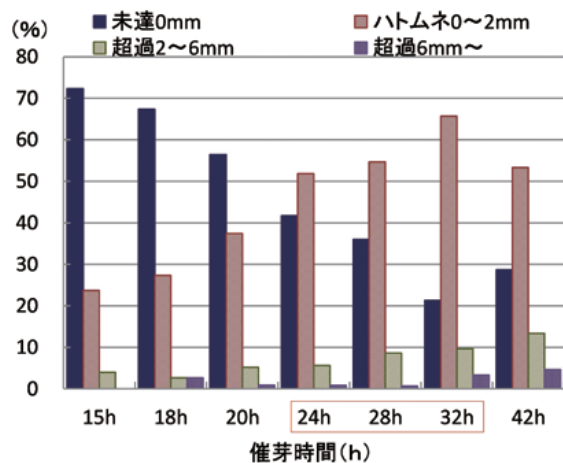


図3 催芽時間と催芽程度 (左: 浸種積算温度120°C、右: 浸種積算温度135°C)

注) 水田利用研究室での結果 (R3)、品種「にじのきらめき」、水温: 15°C (浸種時)、30°C (催芽時)
 催芽程度: 100粒を目視で測定 (反復3~9)

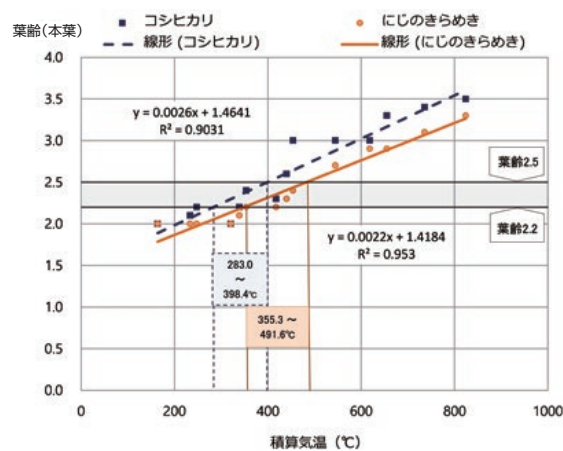
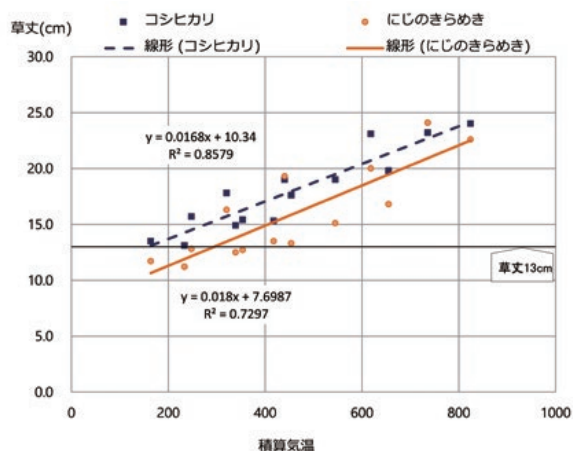


図4 ハウス内での積算気温と播種後15日から35日の生育 (左: 草丈、右: 葉齢 (本葉)) との関係

注) 水田利用研究室での結果 (R3)、播種日: 4/5、4/19、5/12、播種量: 乾籾160g/箱
 出芽には育苗器 (30°C・2~2.5日間) を使用

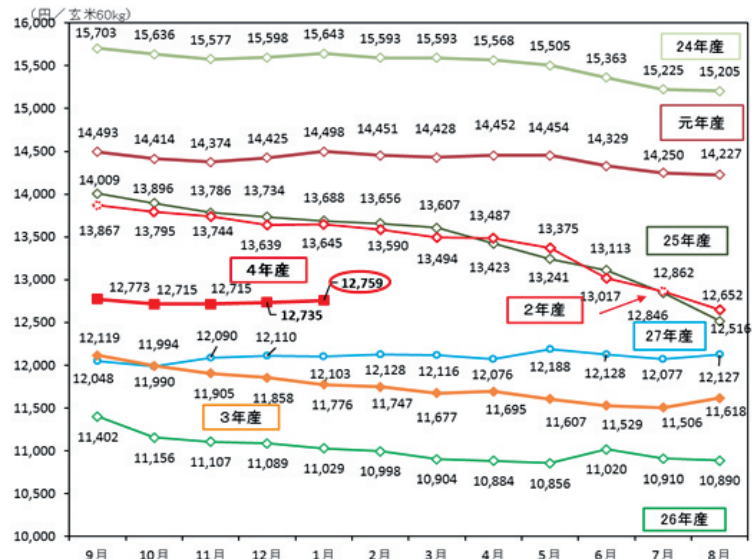
4. 米穀情勢について

全農茨城県本部 米穀部米穀課

1. 4年産の作付面積および作柄概況

農林水産省が12月9日に公表した4年産主食用米の作付面積は125.1万haとなり、前年に比べて5.2万haの減少となりました。この結果、4年産米の主食用米等生産量は670万トンと前年産から▲31万トン減少しました。

【図表1】 相対取引価格の推移（1月末）



(備考) 農林水産省公表相対価格にもとづき作成。包装代・消費税相当額を控除した価格。

2. 4年産米価格の動向

- (1) 農林水産省が公表した4年1月相対販売価格（税別・包装抜換算）は、12,759円/60kgと、前年同月差+983円となっています。
- (2) また、2月上旬における4年産市中価格（業者間のスポット取引価格）は、前年同月から+500円～3,600円/60kgとなっています。

【図表2】 4年産市中価格（2月上旬）

(単位:円/60kg、税抜)

産地	秋田	宮城	茨城	新潟	富山
銘柄	あきたこまち	ひとめぼれ	コシヒカリ	一般コシヒカリ	コシヒカリ
4年2月上旬(4年産)①	14,800	13,200	13,600	15,000	13,600
3年2月上旬(3年産)②	11,400	10,600	10,000	14,300	13,100
①-②	3,400	2,600	3,600	700	500

※市中価格は、関東着・大阪着・在姿、包装込。
※米穀市況速報A版から抜粋。

3. 今後の需給見通し

- (1) 農林水産省が公表した需給見通しによると、4年産米の作付転換が大きくすすんだ結果、5年6月末民間在庫量は191～197万トンと前年を大きく下回ることが見込まれます。
- (2) また、5年産米も4年産米と同程度の作付けとすることにより、6年6月末民間在庫量は180～186万トンとさらに在庫が減少し、一層の需給改善がすすむことが見込まれます。

【図表3】 今後の需給見通し（10月20日 食糧部会）

(単位:万トン)

		22年7月 食糧部会	22年10月 食糧部会
令和3年6月末民間在庫量	A	218	218
令和3年産主食用米等生産量	B	701	701
令和3/4年主食用米供給量計	C=A+B	919	919
令和3/4年主食用米等需要量	D	702	702
令和4年6月末民間在庫量	E=C-D	217	218
令和4年6月末民間在庫量	E	217	218
令和4年産主食用米等生産量	F	675	670
令和4/5主食用米等供給量計	G=E+F	892	888
令和4/5年主食用米等需要量	H	692	691～697
令和5年6月末民間在庫量	I=G-H	200	191～197
令和5年6月末民間在庫量	I	-	191～197
令和5年産主食用米等生産量	J	-	669
令和5/6主食用米等供給量計	K=I+J	-	860～866
令和5/6年主食用米等需要量	L	-	680
令和6年6月末民間在庫量	M=K-L	-	180～186

5. がんばる種子生産者！



北つくば農業協同組合 結城種子生産部会

生産者 山下 有哉さん

◆ 経営規模

- ・ 水稻 夢あおば 8.5ha
(うち、種子5.0ha)
- ・ 白菜 30.0ha
- ・ トウモロコシ 15.0ha

◆ 主な保有機械

- ・ トラクター 7台
- ・ 田植機 1台
- ・ 自脱型コンバイン 1台
- ・ 乾燥機 3台

◆ 品質向上の取組

こまめに圃場に入り、異株や漏生苗等の抜き取りを徹底しています。

また、昨今異常気象が多いため、普及センターやJ A、関係機関の指導を仰ぎながら、適期防除等に努めています。

また、品種の特性もあり稲こうじ病が散見されるため、本田防除、抜き取り等を徹底しています。

◆ 栽培管理

夢あおばは、飼料用米専用品種のため、株が太くコンバインを痛めてしまう可能性があることから、低速にしたり、刈り取る際の条を減らしたりするなど、刈り取りには特に注意しています。

また、毎年土壌診断を実施し、適正な施肥管理をしています。

さらに、除草剤等は定期的に変えるようにし、水稻雑草に抵抗性がつかないようにしています。

◆ 今後の抱負

異常気象などで品質低下しないよう、関係機関と連携し、優良種子の栽培に努めていきたいです。

また、研修会や講習会に参加し、知識を深めたいと思います。

後継者として、種子部会がより一層盛り上がるよう、若い力で頑張ります。



6. 穀物改良部ニュース

(1) 水陸稲種子生産委託会議を開催

2月24日（金）、令和6年播種用水陸稲種子生産委託会議が開催されました。会議では、県の水陸稲採種計画及び種子生産計画が決定され、それを基に各種子場農協に各種子の生産が委託されました。

令和6年播種用水陸稲種子生産計画

	品種名	数量 (kg)
水稲うるち	コ シ ヒ カ リ	917,200
	あ き た こ ま ち	162,060
	ふ く ま る S L	50,000
	ゆ め ひ た ち	26,500
	チ ヨ ニ シ キ	14,500
	一 番 星	5,500
	あ さ ひ の 夢	45,000
	に じ の き ら め き	80,000
	ひ た ち 錦	1,000
	ミ ル キ ー ク イ ー ン	35,300
	あ き だ わ ら	14,000
	そ の 他	2,240
	水稲うるち計	1,353,300
水稲もち	マ ン ゲ ツ モ チ	34,220
	ヒメノモチ、ココノエモチ	2,560
	水稲もち計	36,780
陸稲もち	ひ た ち は た も ち	7,000
飼料用	夢 あ お ば	90,000
	月 の 光	25,000
	飼料用計	115,000
合 計		1,512,080

(2) 麦類種子現地検討会を開催

2月27日（月）、茨城県採種部会協議会（会長：谷田部貞雄氏）主催の令和4年度麦類種子現地検討会が、JA水戸かつら採種部会の協力の下、県内麦類採種関係者33名が参加し、開催されました。

かつら採種部会では、小麦「さとのそら」、六条大麦「カシマムギ」と「カシマゴール」の3品種の麦種子を生産しており、参加者全員でそれぞれの圃場を視察しました。各圃場の生産者より圃場管理の説明を受けた後、使用資材や栽培技術等の情報交換が行われました。

また、種子の保管管理に関する検討事項として、種子保管と発芽の関係を県南農林事務所・皆川専門員より、種子燻蒸の留意点を国際衛生株式会社から、それぞれ説明を受けました。

最後に、谷田部会長から「今回視察した圃場の収穫後の状況を調整程度確認会で検討する、及び種子の保管管理については、引き続き検討事項とする」との提案があり、今回の現地検討会を終了しました。



令和4年度第66回茨城県稲作共進会受賞者名簿

正 賞	氏 名	市町村	特別賞
最優秀賞	(有)真木みらいファーム	つくばみらい市	茨城県知事賞
優秀賞	(有)関農産	つくば市	茨城県議会議長賞
	長島 義夫	桜川市	茨城県農業協同組合中央会会長賞
優良賞	上金 昭	那珂市	全茨城県本部運営委員会会長賞
	(株)きうち農産	稲敷市	茨城県農林振興公社理事長賞
奨励賞	小林 文夫	常陸太田市	
	清水 光男	常陸太田市	
	萩谷 龍司	常陸大宮市	
	小幡 利克	城里町	
	野村 貞行	笠間市	
	柘植 泰宏	石岡市	
	比企 正男	石岡市	
	谷田部 貞雄	石岡市	
	(有)根本農場	つくば市	
	(株)クローバー・ファーム	境町	

令和4年度第33回茨城県そば共進会受賞者名簿

正 賞	氏 名	市町村	特別賞
最優秀賞	横張 清彦	阿見町	茨城県知事賞
優秀賞	ライジングファーム(株)	小美玉市	茨城県議会議長賞
優良賞	篠崎 宏之	下妻市	茨城県農業協同組合中央会会長賞
	小林 文夫	常陸太田市	
奨励賞	(株)ファーム赤土	常陸太田市	
	農事組合法人てらさき	笠間市	



【速報】令和4年度全国そば優良生産表彰において、横張清彦様が（一社）全国農業協同組合中央会会長賞を、篠崎宏之様が（一社）日本麺類業団体連合会会長賞をそれぞれ受賞されました。

◎ お知らせ 穀物改良部では、下記により人事異動がありました。

(令和5年3月31日付け)・退職 主任 小長谷裕宝
(令和5年4月1日付け)・転出 主事 影沢 哲矢
・転入 主任 岩崎 秀英